

2018年 生産ゼミOB会

【生産ゼミOB会】

中小企業大学校 経営管理者研修 生産ゼミのOB会開催の要領。

- 1. 対象 : 中企大 経営管理者研修 生産ゼミのOB
- 2. 場所 : 中小企業大学校 東京校
- 3. 期日 : 2018年 5月 19日(土)
- 4. 日程 : 「OB会」13:30～ **3202 教室**にて受付開始 14:00～16:40 OB会
 「懇親会」17:30～ 養老乃瀧 懇親会終了後解散
 ※二次会及び翌日(日曜)の行動は、臨機応変に対応したいと考えております。



5月19日(土)日程

	開始	終了	種別	内容
	13:00	13:30	会場準備	幹事 13時集合 (寮チェックイン)
	13:30	14:00	受付	受付後 各自歓談 (3202 教室)
OB会	14:00	14:40	Opening	1.幹事紹介～開会のあいさつ 2.スケジュール説明 3.立居場挨拶・現状報告 4.参加者紹介 5.その他ご案内等
	14:40	14:50	休憩	
	14:50	15:35	ゼミ活動 紹介	近年のゼミと論文の傾向 36期 優秀論文紹介、質疑応答 37期 優秀論文紹介、質疑応答
	15:35	15:45	休憩	
	15:45	16:40	研修	製造業の経営について (立居場)
	16:40	16:50	終了挨拶	当番幹事～閉会のあいさつ
	16:50	17:00	記念撮影	(教室予約の関係で17時までには退室)
	17:00	17:30		移動 (寮チェックイン)
懇親会	17:30	19:30	懇親会	養老乃瀧 (予定) 二次会等の計画はしていません。 その場の雰囲気です…(o)v

5月20日(日)日程

日曜日はOB会としての活動計画等は特にありませんが、当日は大学校のオープンキャンパスが開催されます。敷地内でバンド演奏などの催し物と飲食の出店が出るそうなので、参加されても良いかと思えます。
 なお立居場は、体力が残っていれば日曜日に浅草寺に「三社祭」を見に行ってみようかと思っております。お暇な方はご一緒にいかがですか? ()v

IME [ai e mii] 中堅・中小製造業の経営革新

定期(94)

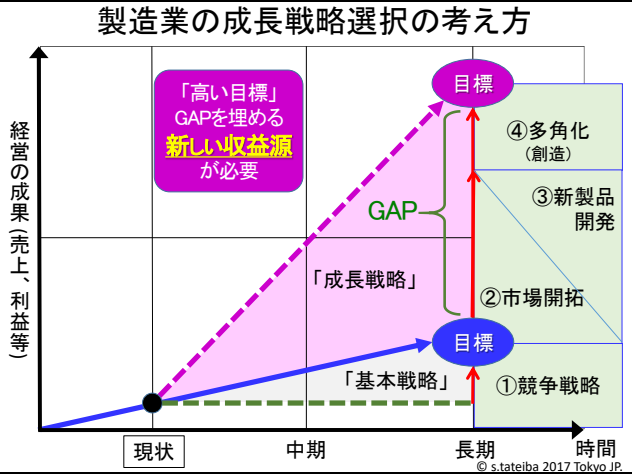
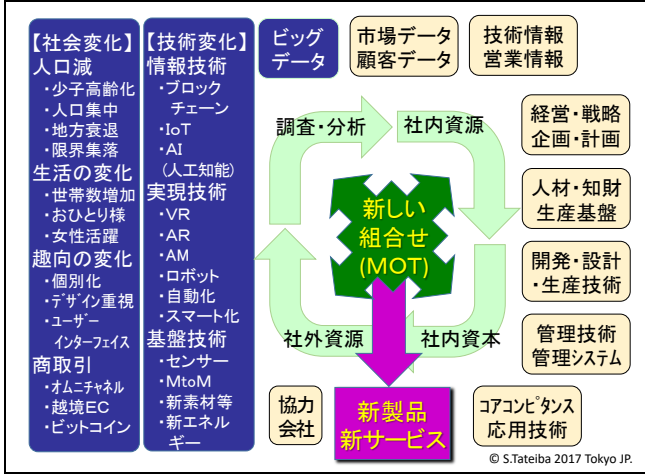
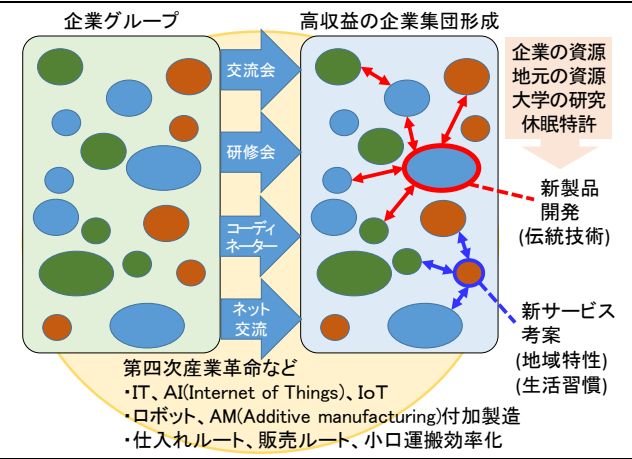
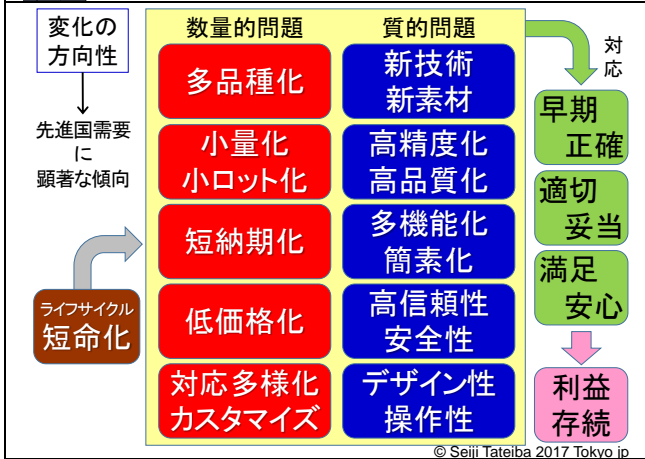
2018年 製造業の今後の経営

株式会社 IMEコンサルティング
代表取締役 立居 誠治

Save The Earth
© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

定期経営セミナー開催予定

- 場所
大田区産業プラザ(Pio) 蒲田
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20
TEL:03-3733-6600
- 日時
5月19日(土) 中企大 東京校 3202研修室
6月29日(金) PIO-F会議室
7月20日(金) PIO-F会議室
18:30から1.5~2時間程度
- テーマ
・企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する



外部環境の変化

【世界情勢】保護主義、商習慣変化、越境EC

【国内環境】少子高齢化・人口減、生活単位の少人数化、地方衰退

【情報技術】ブロックチェーン、IoT (モノをネット接続)、AI (人工知能)

【労働問題】働き方改革 (同一労働、同一賃金)、(残業・長時間労働)、人づくり革命、生産性革命、メンタルケア、組織管理

【実現化技術】AM(付加製造)、ロボット、センサー、MtoM、自動化、スマート化 (新素材、新エネルギー)

概念: 所有から共有化へ Society 5.0 第四次産業革命

概念 方向性の一つとして
所有から共有化へ・・・自前or委託

・変化に対応するには、所有率、固定化率が高いほど不利と考えられる。共有化とフレキシブル性が重要！

所有の概念を変える！
概念: 所有から共有化へ、
固定からフレキシブル(流動)化へ

[業務範囲]	営業、生産、物流等
[人、人材]	契約形態(レンタル移籍) (人材の流動化、国際化)
[機械、設備]	機械・設備リース
[不動産等]	建物、工場、倉庫等

© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

<p>概念 人と設備の最適組合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場 機能 工程 作業、動作 目、耳、触覚 神経 脳 神経 手足、声... スマートファクトリー 自動設備 自動機械、ロボット 機械 センサー M2M コンピュータ、AI M2M 機械、ロボット 音声、画像表示... <p style="text-align: right; font-size: small;">© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.</p>	<p>AIの導入</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.</p>															
<p>人工知能の判断・業務の内容と、会社の役職との対比</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>AIレベル</th> <th>判断と業務の内容</th> <th>役職等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル 4</td> <td>判断基準を設計 高度・複雑な判断をする</td> <td>経営層 研究職</td> </tr> <tr> <td>レベル 3</td> <td>対応パターンを自動学習 多くの判断をする</td> <td>管理職 専門職</td> </tr> <tr> <td>レベル 2</td> <td>多くの手順等を理解し、 判断して実行する</td> <td>一般社員 実務者</td> </tr> <tr> <td>レベル 1</td> <td>指示に基づいて実行する 単純な判断と作業をする</td> <td>マニュアルレイバー アルバイト</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.</p>	AIレベル	判断と業務の内容	役職等	レベル 4	判断基準を設計 高度・複雑な判断をする	経営層 研究職	レベル 3	対応パターンを自動学習 多くの判断をする	管理職 専門職	レベル 2	多くの手順等を理解し、 判断して実行する	一般社員 実務者	レベル 1	指示に基づいて実行する 単純な判断と作業をする	マニュアルレイバー アルバイト	<p>手作業から、機械化・自動化、スマートファクトリー、Industry4.0、Society5.0の流れ</p> <p>AI導入の2つの流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「経営・管理業務の自動化」・・・経営・管理 「機能業務の自動化」・・・実務機能 <p style="text-align: right; font-size: small;">© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.</p>
AIレベル	判断と業務の内容	役職等														
レベル 4	判断基準を設計 高度・複雑な判断をする	経営層 研究職														
レベル 3	対応パターンを自動学習 多くの判断をする	管理職 専門職														
レベル 2	多くの手順等を理解し、 判断して実行する	一般社員 実務者														
レベル 1	指示に基づいて実行する 単純な判断と作業をする	マニュアルレイバー アルバイト														
<p>役職別の検討 経営・管理業務のAI導入選定</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営業務 <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略・計画立案 経営管理 課長業務 <ul style="list-style-type: none"> 業務管理 人員計画・管理 設備計画・管理・メンテナンス ... <p style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">管理とは、問題点を見つけて、対処する事 監視・測定・報連相→判断→指示</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">CDプロジェクト</p>	<p>「機能業務の自動化」・・・実務機能 自動化・スマート化をどの範囲で？</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場 (factory) 活動(機能) (Activity) 工程 (process) 単位作業 (operation) 要素作業 (element) 動作 (motion) 動素 (therblig) <p style="text-align: right; font-size: small;">定期設備自動化</p>															
<p style="text-align: center;">CDプロジェクトなどでの 自動化検討</p> <p>Step.1 自動化対象の検討 Step.2 評価項目の設定 Step.3 戦略的評価・検討 Step.4 優先順序の決定</p>	<p style="text-align: center;">定期設備自動化での 優先順位検討</p> <p>Step.1 選定基準の設定 Step.2 候補の抽出(申請) Step.3 候補の評価 Step.4 戦略的スクリーニング Step.5 採否決定</p>															